

第52番 太山寺

●愛媛県松山市太山寺町1730
089-978-0329
●宿坊／なし



第53番 圓明寺

●愛媛県松山市和気町1-182
☎089-978-1129
●宿坊／なし



沿線の見どころ



権現温泉

古くから湯治場として愛されてきた温泉郷に、自然に囲まれてひっそりと佇む。大浴場や薬湯、ジェット風呂、泡風呂、サウナなどバラエティ豊かな。春にはうぐいすをはじめとする鳥のさえずり、桜の開花、初夏には蛍の乱舞や木々の深緑がまぶしく、秋には紅葉など四季折々の自然も楽しめる。

愛媛県松山市権現町670
円明寺から県道39号線経由、北東へ約3.5Km
☎089-978-0334
🕒10:00～23:00(礼止22:30)
🍷第4本壇
(祝日の場合は営業、代替日は事前告知)
👤大人600円



境内の見どころ



聖徳太子堂

かつて伊予の国にきた聖徳太子は、この寺と縁を結んだ。境内の一角にある聖徳太子堂・夢殿には、法隆寺の夢殿にあるのと同じ聖徳太子像が祀られており、太子の聡明さにあやかろうとお参りする人が多い。特に毎年成人の日に行われる太子祭りには、合格祈願に県内外から大勢の人が訪れる。



境内の見どころ



亀の石

昔の人が力比べに使った石の一つ。大中小の石があるというが、現在残っているのは「中」の石。村祭りの時に若者はこの石をどのくらい遠くまで運べるかで、力比べをしたという。また、大師堂そばに残る三重塔の礎石の一つを新しい亀の子たわしで洗うと、痔の痛みが和らぎ完治するといわれている。



坂道や石段は多いが、整備されており歩きやすい

第52番

瀧雲山 太山寺

りゅううんざん ごいん たいさんじ

参道から境内まで見どころ多数

歴史・全体像

平安時代後期から歴代天皇の帰依を集めたといわれる太山寺の創建者は、豊後国の真野長者。用明2年(587)、長者が大坂に向かう途中、高浜沖で風雨に襲われた時、観音菩薩に祈って海難を逃れた。その御礼として自国で木組みした建材を運び、一夜で寺を建立したと伝えられている。

天平11年(739)には、聖武天皇の勅願により、行基が十一面観音を刻んで本尊として安置した。次いで、弘法大師が巡錫されたのは天長年間(824～834)のこと。それまでの法相宗から真言宗に改宗した。後に寺は荒廃の憂き目にあうが、嘉元3年(1305)、領主河野氏によって再建された。

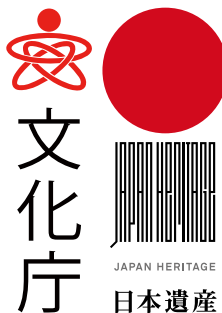
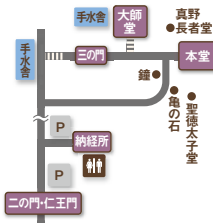
境内

仁王門は三間一戸の八脚門で、金剛力士像が安置されている国の重要文化財。四国霊場の中では二番目に古いといわれる本堂は、嘉元3年(1305)に建てられた国宝。入母屋造り、本瓦葺きで重厚な屋根の広がり美しい。須弥壇に安置されている七体の十一面観音像は、代々の天皇が納めたもので国の重要文化財だ。本堂の左手奥にある真野長者堂は、太山寺の創建者とされる真野長者を祀っている。参道は風情があり、美しい景観が訪れる人々の目を楽しませてくれる。樹木に覆われた参道沿いの民家は、遍路宿の面影を残している。奥の院までの道はハイキングコースになっている。

御詠歌／たいさんへのぼれば汗のいでけれのちの世おもへばなんの苦もなし
本尊／十一面観世音菩薩
真言／おん まか きやろにぎやそわか
宗派／真言宗智山派
開基／真野長者



国宝に指定されている本堂



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

ここをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



※赤い点線は遍路道の一例です

089-979-1500

- 各札所のマップはホームページでもご覧いただけます www.seichijunrei-shikokuhenro.jp